

1. 研究課題名

頭皮冷却療法施行完遂におけた頭皮冷却療法による悪心嘔吐の発生状況と対応についての検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

PAXMAN Scalp Cooling®システム（以下、PAXMAN）を用いた頭皮冷却療法は、乳癌患者の化学療法による脱毛に対する脱毛抑制効果があるとされ、当院でも2024年6月に導入し症例を重ねてきました。脱毛抑制や再発毛の効果がみられる一方で、頭皮冷却療法の副作用としての悪心嘔吐を多く認めており、中には悪心嘔吐のために頭皮冷却療法を中止する症例もでてきています。今回、頭皮冷却療法に伴った悪心嘔吐の発生状況、および対応について調査し、今後頭皮冷却療法の施行完遂につなげることを目的としています。

研究期間は承認日から2030年3月31日までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2024年6月から2026年3月の間にPAXMANによる頭皮冷却療法を受けられた方の診療記録を利用して行います。利用する情報は患者背景、PAXMAN施行開始日、PAXMAN施行回数、悪心嘔吐の発生状況、悪心嘔吐に対する投薬内容、悪心嘔吐に対するその他の対応、PAXMAN施行完遂の有無、脱毛の程度、再発毛の状況、その他の副作用などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 乳腺・甲状腺外科 清水 淑子（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 乳腺・甲状腺外科 荻谷 朗子、米田 央后、清水 淑子